

前回定例会（平成19年6月6日）以降の行政の動き

平成19年7月4日
原子力安全・保安院
原子力安全地域広報官

- 1. 東京電力㈱福島第二原子力発電所2号機の圧力抑制室内壁の一部けずれについて（6月11日）**
原子力安全・保安院は、平成19年6月8日、東京電力㈱から、定期検査中の福島第二原子力発電所2号機（沸騰水型：定格出力110万キロワット）の塗装はく離作業における圧力抑制室内壁の一部けずれについて報告を受けた。
- 2. 実用発電用原子炉に係る平成18年度第4四半期の定期安全管理審査について（6月14日）**
原子力安全・保安院は電気事業法第107条の3第1項の規定に基づき、平成18年度第4四半期の実用発電用原子炉に係る定期安全管理審査の結果について、6月14日に原子力安全委員会に報告した。
- 3. 実用発電用原子炉に係る平成18年度第4四半期の使用前検査及び燃料体検査の合格並びに定期検査の結果について（6月14日）**
原子力安全・保安院は電気事業法第107条の3第1項の規定に基づき、平成18年度第4四半期の実用発電用原子炉に係る使用前検査及び燃料体検査の合格並びに定期検査の結果について、6月14日に原子力安全委員会に報告した。
- 4. 原子力施設のトラブルに対する国際原子力事象評価尺度(INES)の適用について（6月15日）**
6月14日に経済産業省において総合資源エネルギー調査会原子力安全・保安部会INES評価小委員会（委員長：班目春樹東京大学大学院工学系研究科教授）を開催し、平成19年2月以降に発生したトラブル及び原子力発電設備における総点検により検出されたトラブルについて評価を実施した。
- 5. 我が国におけるIAEA・IRRSの実施について（6月20日）**
我が国において、国際原子力機関（IAEA）による総合的規制評価サービス（IRRS）を受け入れるため、IAEAのレビューチームが本年6月25日から30日までの日程で来日し、原子力安全規制に係る我が国の法制度、組織等について、総合的なレビューを行う。
- 6. 東京電力㈱福島第一原子力発電所1号機の非常用ディーゼル発電機の損傷について（6月25日）**
原子力安全・保安院は、6月25日、東京電力㈱から、福島第一原子力発電所1号機（沸騰水型：定格電気出力46万キロワット）の非常用ディーゼル発電機の損傷について、報告を受けた。
- 7. 東京電力㈱福島第二原子力発電所2号機の圧力抑制室内壁の一部けずれの原因と対策に係る東京電力㈱からの報告及び検討結果について（6月27日）**
東京電力㈱福島第二原子力発電所2号機（沸騰水型：定格電気出力110万キロワット）において、平成19年6月8日、圧力抑制室内壁が一部けずれた事象に関し、東京電力㈱は、6月27日、原子力安全・保安院に対し、原因と対策に係る報告書を提出した。
- 8. 東北電力㈱女川原子力発電所1号機の原子炉手動停止の原因と対策に係る東北電力㈱からの報告及び検討結果について（7月3日）**
東北電力㈱女川原子力発電所1号機（沸騰水型：定格電気出力52万4千キロワット）における、原子炉手動停止事象（平成19年5月22日に発表済み）に関し、東北電力㈱は、7月3日、原子力安全・保安院に対し、原因と対策に係る報告書を提出した。

（参考）総合資源エネルギー調査会原子力安全・保安部会電力安全小委員会電力設備電磁界対策ワーキンググループの検討事項について（6月1日）

送電線などの電力設備から発生する電磁界の一般公衆に与える健康影響を対象として、国内外の研究、国際的な規制の状況、WHOの環境保健基準等を踏まえた規制のあり方、講ずるべき対策等について検討する。

以上